

いのちまもる

キャラバン行動ニュース

第16号

2014年11月10日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

介護にはたらく仲間の 全国学習交流集会在開催されました



全国から
129名が参加
したよー！



11月8日(土)、第12回介護にはたらく仲間の全国学習交流集会在開催され、129名(医労連ました)。

ホームヘルパー全国連絡会の森永伊紀代表から「介護保険制度改悪の問題点」についての講演を受けました。また、認知症の人と家族の会東京支部の松下副代表から挨拶があり、「専門職の人と出会えるか出会えないかで、認知症の人の人生が大きく違う」と激励を受けました。

会場発言では、北海道勤医労在宅支部の室岡書記長が発言し、冬の一時金引き下げで、支部始まって以来の経営に対する抗議のストライキを実施したことを発言、会場から拍手がわきあがりました。



ストの報告をする在宅支部の室岡書記長

介護事業所で初のストを決行！

事前回交で0.7~0.9ヶ月が限界としていた経営に対し、ストライキを構えて5日の本交渉に臨み1.2ヶ月の回答をました。しかし、スト回避基準の昨年実績(1.2ヶ月+1,000円)を下回っていたため医療系と共にストライキを決行しました。介護事業所でのストライキは全国初となります。



集会前に、東京・巣鴨駅前で署名宣伝行動を行いました。行動には30人が参加し、約140筆の署名と私の一言2枚が集まり、介護相談も一件ありました。



集会では、今年7月に発表された全労連「ヘルパーアンケート」および「介護施設で働く労働者のアンケート（介護労働実態調査）」の最終報告の概要が報告されました。
報告で使われたパワーポイントは日本医労連のホームページにアップしています。

産別交流会も30人が参加で大盛り上がりでした！

第10回全労連介護・ヘルパーネット総会



集会の翌9日(日)、全労連介護・ヘルパーネットの第10回目となる総会が開催されました。処遇改善署名や介護施設の労働実態調査を実施したことや、介護総かからの取り組みなど、一年間の活動を総括した後、2014年度の活動方針が提起され、確認されました(右参照)。
また、介護労働者の組織化に向けて、2016年夏までを期間とする「全国キャンペーン」がすすめられることも発表されました。
介護・ヘルパーネット世話人には、温井書記次長と米沢中執の選出が確認されました。

- 2014年度活動方針(概容)**
- (1) 地域から共同の運動を広げよう**
自治体要請・懇談と介護集会、学習会、スキルアップセミナーの開催。事業者・職能、利用者団体など幅広い団体との共同。
 - (2) 国に対して処遇改善を求める取り組み**
処遇改善署名の推進と「総がかり作戦」による介護事業所訪問での活用。厚生労働省交渉を実施して実効性ある処遇改善・人材確保を求めます。
 - (3) 介護職場の賃金・労働条件改善の取り組み**
介護職場の賃金・労働条件の改善について、各単産・地域での取り組み・交流をすすめます。
 - (4) 介護職場での労働組合づくり、組織化の取り組み**
介護労働者の組織化に向けた「全国キャンペーン運動」に力を尽くします。地方組織単位のネットづくりを促進します。